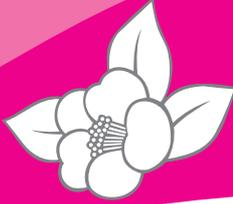


ごとう



へトマト

へトマトは五島市下崎山町の白浜神社に古くから伝わる国指定重要無形民俗文化財で、1月15日に奉納相撲、綱引き、大草履の奉納、羽根つき、玉せせりなどが行われました。

また、昨年12月にへトマト保存会が地域文化功労者として文部科学大臣表彰を受賞しました。



写真は西日本新聞社提供

さらに、議会議案1件、決議2件についても、それぞれ審議決定されました。

12月定例会は、12月7日から12月22日までの16日間の日程で開催されました。

12月12日から14日には、12名の議員が一般質問を行い、12月15日から12月20日までは、各常任委員会が開かれ、付託された議案等について審査を行い、市長提出議案の平成28年度補正予算、条例等38件を可決。決算14件を認定。

12月定例会の あらまし

目次

一般質問	P2~P7
委員会審査	P8~P9
審査結果	P9
賛否一覧表	P10
編集後記	P10

一般質問
市政を問う
(議員写真は西日本新聞社提供)

問 小型風力発電施設を規制すべきでは

答 ガイドラインの作成を検討したい



橋本 憲治 議員

質問 小型風力発電事業は、環境影響評価法の規制がないことから導入しやすく、売電価格が高いこともあり、参入する企業が増えていく。①施設の設置においては、景観などに配慮すべきであり、市として設置規制を設けるべきでは。②地域住民の理解が得られたいうえで建設するように、業者に対して指導をすべきでは。

答弁 ①他の自治体の事例も参考にしながら、市民の安全・安心、環境保全や景観形成などの観点について十分に配慮したガイドラインの作成を検討したい。②事業者に対し、関係住民への説明会などを開催した上で不安の払拭に努め、

円滑な事業展開を行うよう指導してきた。



長手地区の小型風力発電施設

剪定枝などの処分費は

質問 焼却処分されている剪定枝などを堆肥化すべきと考えるが、現在の処分費は。

答弁 焼却施設における草木類の処分費は、年間1千500万円程度で、発生する焼却灰の量は、約20トンである。剪定枝などの堆肥化については、今後検討したい。

問 小型風力発電施設建設への市の対応は

答 五島市景観条例の改正に取り組みたい



明石 博文 議員

質問 小型風力発電施設の建設は個人の所得向上、遊休地の利用として有効であるが、施設建設に関しては、一定の規制が必要では。

答弁 五島市景観計画改定作業を進めており、現在、景観計画改定案へのパブリックコメントの募集を実施している。改定案では、小型風力発電を含む再生可能エネルギー発電施設を、届出対象行為施設に位置づけるとともに、地域住民の意見が反映されるよう当該地域での住民説明会の開催など、事業者への手続き方法を定めている。今後、景観条例の諮問機関である



小型風力発電施設の風景

五島市景観審議会で審議を経て、景観条例の改正に取り組みたい。

イノシシによる被害の状況と今後の対策は

質問 奈留島においてイノシシの目撃や掘り起こしの被害が発生しているが、被害の状況と今後の対策は。

答弁 奈留島のほぼ全域で家庭菜園の被害、道路のり面からの落石、山野での掘り起こし等が多発している。現在、ICT機器による効率的な捕獲や被害箇所、出没状況などの情報管理を行う国の補助事業を申請しており、生息域を正確に把握し、効果的な捕獲と防護対策を行っていきたい。

インターネット通信障害の対策を

質問 奈留島、椋島において、雷雨によるインターネット通信障害の対策を。

答弁 久賀島・奈留島間の光海底ケーブルの一部を借用する手続きを完了することで、安定したインターネットサービスが提供できると考えている。

問 建設費削減のために本庁舎を図書館との複合施設とすべきでは

答 複合施設とするには、検討する時間を要するため、合併特例債を活用できなくなる



草野 久幸 議員

質問 本庁舎を図書館との複合施設として建設することで、財政的に有利になり、市民にとっても利用しやすくなると考える。複合施設としたときの、メリットとデメリットをどのように考えているのか。

答弁 メリットは、図書館と本庁舎の施設を共有することで建設面積の減少が考えられ、建設費が若干割安となる。

デメリットの一つ目は、本庁舎の建設について合併特例債を活用するため、平成31年度までに完成することとしているが、図書館と合築するためには、検討の時間を要するため、合併特例債の期限に間に合わず、財政負担が大きくなる。

二つ目は、本庁舎も図書館も1階部分の面積を広く必要とする建

物である。現在の本庁の空いている敷地で合築する場合、必要とする1階の床面積が確保できず窓口機能等の一部が2階になることが考えられる。

三つ目は、合築のために1階の床面積を大きくするほど駐車場が不足することとなり、市民への利便性が低下する。仮に合築場所を旧五島病院跡地とした場合、庁舎が分離されることで維持管理費が増加すること、効率的な市民サービスの提供が出来ないことが考えられる。



現在の市役所庁舎本館棟

問 岐宿地区3小学校統合後の施設の利活用は

答 体育館や運動場は社会体育として活用したい



網本 定信 議員

質問 岐宿地区の小学校統合後の3小学校施設の利活用は。

答弁 体育館や運動場はミニバスケットやソフトボールの練習など、社会体育としての活用が考えられる。施設の活用については、NPO法人などからの申し出があれば、使用目的等の審査や公共的利用との調整を行い、対応したいと考えている。



施設の利活用が検討されている現在の川原小学校

商工地域行政について

質問 商工地域行政について①岐宿地区の買い物弱者への対応は。

②「東京五島化計画2016」とは。

答弁 ①岐宿地区の食料品店が閉店するという情報を受け、事業の継承や移動スーパードでの対応可能性などについて情報を収集している。買い物弱者対策としては、新規または、既存の移動スーパード事業者に対する支援について、今後、検討したい。②五島市商工会が県の商工会連合会の補助金を活用し、東京在住の五島出身者を中心に活動している五島ZINEと連携し、地域産品の新たな市場開拓による島内小規模事業者の売上向上を目的に、東京山手線沿線の五島出身者が経営する飲食店で、五島素材活用メニューを提供する五島フェアを開催した事業である。

屋根つき多目的グラウンドの整備を

質問 屋根つき多目的グラウンドの整備を。

答弁 スポーツ施設の整備については、議会や市内の競技団体及び合宿で訪れる実業団等からの要望が多い陸上競技場の全天候型舗装への改修を最優先に考えており、現時点で屋根つき多目的グラウンド整備は難しいと考えている。

問 組織機構見直しの具体的な内容は

答 市長部局に部制を導入



神ノ浦伊佐男議員

質問 市長部局において、関連性が高い課の連携、協力度体制の強化等を目的として部制を導入することだが、組織機構見直しの具体的な内容は。

答弁 市長部局を総務企画部、市民生活部、地域振興部、農林水産部、建設水道部の5部に編成し、市長及び副市長の権限の一部を部長に付与することにより、迅速な意思決定と施策展開を図る。

また、支所については新たに支所長補佐を配置し、支所内の連携を強化し、窓口班、地域振興班の組織とし、奈留支所のみ環境水道班を加えた体制とする。

3世代同居・近居促進事業の補助条件の緩和を

質問 3世代同居・近居促進事業は、居住環境等を整備することで出生率の向上や子育て支援を図る

ことを目的としているが、補助条件が厳しく活用しにくい制度である。制度改正はできないか。

答弁 本事業は、新たに3世代で同居・近居を始めるために必要な住宅の改修・取得に要する費用の一部を助成するものである。制約があり申請件数が少ないが、国県の補助制度に基づいているため補助条件の緩和は困難である。県に対しては意見・要望等を出している。今後とも継続して要望していく。

消防出張所の建てかえは

質問 岐宿、玉之浦、富江、三井楽の消防出張所は昭和48年に建設されて老朽化が著しく、耐震基準を満たしていないが、今後の整備計画は。

答弁 現在、五島市総合戦略アクションプランの重点事業の一つとして取り組んでおり、平成29年度に岐宿、玉之浦出張所を、残りの富江、三井楽、奈留出張所を平成31年度までに整備する予定である。



昭和48年に建設された岐宿消防出張所

問 岐宿地区の小売店閉店による住民生活への影響についての対応策は

答 事業継承や移動スーパーでの対応の可能性について、情報を収集している



江川美津子議員

質問 岐宿地区では、唯一の生鮮食料品を販売する店が12月中旬に閉店する。移動手段を持たない方も多く、毎日の食料品をどうしたらいいのか、と心配の声が上がっている。商店がなくなることは、生活に直結し、地域に住み続けることができなくなり、医療や介護にも係わってくる問題であるが、住民生活への影響についての現状認識と対応策は。

答弁 利用者にとっては、不便を来すことになろうかと考えており、事業継承や移動スーパーでの対応の可能性について、情報を収集している。さらに、新規、あるいは既存の移動スーパー事業者に対する支援について、来年度予算編成の中で検討しているところである。

新たな奨学金制度の進捗状況は

質問 9月議会において、人口減少の抑制対策としてUターンを問わず、本市に就労した場合、借入れた奨学金の返済を助成する新たな奨学金制度の創設を検討することとしていたが、その進捗状況は。

答弁 29年4月の実施に向けて、制度設計を進めている。対象者を大きく2つに区分しており、いずれも就労していることが条件で、①Uターン者で、制度開始以降に五島市に住民票を置き、奨学金を返済している者。②市内の高校を卒業し、島外へ出ず制度開始以降に奨学金の返済が始まり、返済をしている者の2つで、助成上限は年額24万円、期間は最長8年間とする方向で検討している。財源については、協議、調整している。



城岳展望所から見た岐宿の街並み

問 新ごみ焼却施設における環境対策は

答 住民と協同した監視システムを構築していきたい



木口 利光 議員

質問 新ごみ焼却施設稼働後の環境対策と地域住民や市民への情報提供の体制づくりをすべきでは。

答弁 新たな焼却施設の排ガス基準値は、国の基準値より更に厳しい自主規制値を設け、ダイオキシン類の測定も法に定められている年1回ではなく、2回以上行いたい。また、公害防止協定の締結や協議会の設置等、地域住民と行政が協同して行う監視システムを構築したいと考えている。排ガス状況等は市広報紙やホームページで積極的に情報公開を行い、各小中学校の環境学習や市民の皆様への施設見学会も積極的に開催していきたい。

海洋再生可能エネルギーと漁業との共生を

質問 世界の先駆けとなる海洋再生可能エネルギーと漁業との共生

・協調モデルとして、崎山地区での藻場再生・いそ焼け対策に取り組むべきでは。

答弁 海洋再生可能エネルギー事業における大きな課題は、漁業との共生である。そのため藻場の喪失が進む本市で、新年度崎山地区のいそ焼けの状況調査にまずは取り組むたい。

市長のまちづくり事業への思いは

質問 五島市全域で人口減少が進む中で、地域を守って、さらに活性化していくためには、地域の絆再生事業を市全域で強化していくことは欠かせないと思っているが、五島市の重要施策として、市長のまちづくり事業への思いは。

答弁 人口減少が続く中、地域住民がともに支え合いながら、地域の活性化に取り組むことは重要であり、市総合戦略においても重要なプロジェクトと位置づけ、引き続き取り組んでいきたい。



地域の絆事業の一環として行われた奥浦地区の防災訓練

問 市長の市政運営のスローガン「人口減に挑む」の具体的な施策は

答 5つの重点施策を掲げ、積極的に市政を進めていきたい



三浦 直人 議員

質問 五島市の人口は、この5年間で約3千300人減少しており、人口減少に歯どめがかからない状況が続いているが、市長の市政運営のスローガン「人口減に挑む」の具体的な施策は。

答弁 ①雇用を生み出す。②人が行き交うしまづくり。③子供たちの笑顔あふれるしまづくり。④安心して暮らせるしまづくり。⑤将来に備えるしまづくり。以上5つの重点施策を掲げ、これからの4年間を人口減少対策の大変重要な期間であると位置づけ、積極的に財政出動するという強い気持ちを持って市政を進めていきたい。

保育料助成制度の見直しを

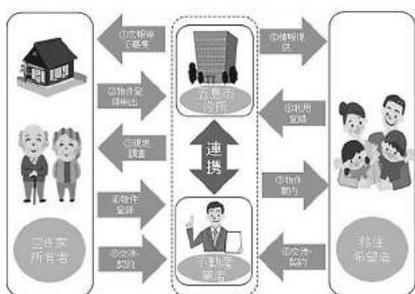
質問 保育料の助成については、現行の制度で対象年齢の上限が中学3年生となっているが、若者世帯の子育て経費削減のために、対

象年齢の上限を見直すべきでは。
答弁 平成29年4月から保育料軽減に係る対象年齢制限を撤廃し、生計を同一にする兄弟姉妹がいれば、2番目は半額、3番目以降は無料という内容の検討を行っている。

五島市空き家活用促進事業補助金の執行状況は

質問 そのまま放置すると倒壊など著しく保安上危険な空き家である特定空き家以外の空き家バンクに登録された空き家の改修等に要する経費の一部を助成する五島市空き家活用促進事業補助金の執行状況は。

答弁 この事業は市内における空き家を有効活用し、U・I・ターン者の定住促進を図るため、平成27年度に創設している。平成27年度の執行状況は5件、平成28年度は12月6日現在で交付決定が3件、金額が194万7千円となっている。



空き家バンクの流れ

問 捕獲したイノシシ、鹿を有効活用するべきでは

答 大量捕獲が可能となれば、関係者と協議しながら検討したい



片峰 亨 議員

質問 有害鳥獣対策としては、箱わなや防護柵等の設置をしているが、減少どころか生息範囲も拡大し、数もふえているのが現状である。捕獲したイノシシ、鹿、タイワンリスなどの処分にも経費がかかることから、食肉や革製品として有効活用すべきでは。

答弁 今年度の捕獲頭数は、11月末現在で、鹿が298頭、イノシシが471頭と過去最多となっている。肉の有効活用については、処理場の建設費等の経費や、肉の安定供給が困難なことから、捕獲を優先してきている。なお、今後、ICT機器の活用に



捕獲されたイノシシ

より、大量捕獲が可能となれば、食肉や加工品など、資源として有効活用できるのではないかと考えられることから、関係者と協議、検討を進めていきたい。

油化還元装置の導入及び市の遊休地の有効活用により自主財源を確保すべきでは

質問 現在本市は年間2千トンの廃プラスチックを経費をかけて燃焼している。これを油化還元装置にかければ、1億円以上の油を作ることができる。また、市の遊休地を太陽光や小型風力発電に活用し、売電収入等により自主財源を確保すべきでは。

答弁 油化装置については、再生された油の品質や装置の普及状況等を見極めながら導入についての検討をしていきたい。市の遊休地の活用については、現在、五島市再生可能エネルギー推進協議会において調査研究を進めている地域新電力会社の設立の検討状況を見ながら、市の遊休地を活用した発電事業の可能性を研究していきたい。

問 五島の代表的民謡「五島さのさ」「五島ハイヤ節」の普及支援を

答 勉強会や講座等の開催で保存会組織化の足がかりに



中村 康弘 議員

質問 五島の代表的民謡「五島さのさ」「五島ハイヤ節」は観光客歓迎やイベントに不可欠な郷土芸能であり、普及支援をすべきでは。

答弁 「さのさ」や「ハイヤ節」を代表する五島の民謡は、各地で親しまれ、地域文化の振興や郷土芸能継承からも重要なものと考えられるが、直ちに保存会を設立して継承していくことは非常に厳しい部分もある。まずは、勉強会や講座等を開催し、人材発掘と情報発信を行い、結果として保存会の組織化のきっかけづくりになればと考えている。



五島の代表的民謡「五島さのさ」

旅費規程の見直しを

質問 旅費規程の見直し状況は。

答弁 平成29年度実施を目指し職員組合や関係課との協議を進めている。具体的には、航空賃や船賃、宿泊が包括されたパック旅行商品や宿泊地域区分料金、海外出張等の見直しを行う予定である。

JETプログラムの成果について

質問 JETプログラムが本市でも事業展開されているが、成果は。

答弁 同事業は語学指導等を行う外国青年を招く事業で、30周年記念大会（東京）が11月7日、皇太子同妃両殿下御臨席のもと開催された。またこの大会では、崎山小学校の児童3名が参加し、多くの外国招待者の前で、日頃の英語学習成果を堂々と発表し、自分の話す英語が外国の方に通じる喜びを存分に味わったと考えている。さらに、10月の市中体連駅伝大会では、奈留中学校の生徒が英語による選手宣誓を行い、英語習得事業「プロジェクトG」の成果が着実に進んでいると考えている。英語が特別な言語ではなく、身近な存在となるようさらに力を入れていきたい。

五島市の「お薬ネット」に登録しよう

五島市内に在住の方であれば誰でも
薬局や健康政策課で登録できます。

五島市内の薬局でもらったお薬は
すべて登録されます。

異なる薬局のお薬でも飲み合わせが
確認でき、安全服薬につなげられます。

災害時など万が一の場合も
お薬履歴が確認できます。

救急受診時もお薬の履歴が
先生にすぐに伝わります。

詳しくは五島市健康政策課もしくは各調剤薬局まで
五島市健康政策課
〒853-0064 五島市三浦町1丁目7番1号
電話0999-74-5831 FAX0999-74-5832

質問 五島市地域調剤情報共有システムについて、①仕組みとその運用状況は。②機能的特徴は。③薬剤情報の共有に必要な本人同意書の取得状況は。④二次的利用は。⑤今後の活用計画は。

答弁 ①調剤情報共有システムは、調剤薬局の調剤情報を一元化し、薬の飲み合わせや重複投薬など適切な服薬指導につなげるためのシステムとして、平成26年4月から運用を開始している。②調剤薬局



相良 尚彦 議員

問 薬剤情報の同意書の取得状況は

答 同意取得率31・5%である

22カ所、長寿介護課、消防本部、五島中央病院との共有化により調剤情報が一括管理され、薬歴や患者情報など閲覧でき、問題点があると薬剤師による服薬指導を受けることができる。③平成28年11月末現在で、1万1千953人、同意未取得者が2万4千727人、同意取得率31・5%である。④平成27年度に調剤情報分析システムを構築し、インフルエンザ薬などの調剤情報を地区別、年齢別に把握し、関係機関に情報提供し、効果的な予防医療に活用している。⑤県内の地域医療連携情報あじさいネットに接続し、広域的な調剤情報共有システムの構築を図り、訪問看護ステーションとの連携によるモバイル端末を利用した在宅医療での活用を目指していきたい。

調剤情報閲覧同意書

個人情報を扱うに当たっての趣旨の上、五島市の「調剤情報共有システム」への参加を申し込みます。

※参加したい方の情報 ※ご本人のご記入でなくても結構です。

氏名(漢字)	
氏名(カナ)	
性別	男 <input type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/>
生年月日	〒 S - 月 日
居住地	五島市 町 番地

申請日: 年 月 日

ご署名:

本人 代理人(印刷)

コメント

身体的理由により記入する事ができない

本人が承諾する事ができない 本人印 (捺)

代理人が承諾する事ができない 代理人印 (捺)

その他

調剤情報閲覧同意書

問 岐宿地区の交通・買い物弱者への対応は

答 地域公共交通再編事業で取り組んでいく



菊谷 岩雄 議員

質問 診療所休診や食品小売店の閉店の報など岐宿地区の疲弊化を感じているが、高齢者等交通・買い物弱者への対応は。また、路線バスを利用できない方もいるが、買い物や通院の方法は。

答弁 陸上交通及び海上交通の一体的な再編により、持続可能な交通ネットワークの再構築に取り組むため、五島市地域公共交通再編実施計画を策定し、平成28年9月に国の認定を受け、現在、再編事業に取り組んでいる。

また、路線バスを利用できない方の日用品等の確保については、移動スーパーでの支援や民間事業者等による宅配サービス、シルバー人材センターによる買い物支援サービスが考えられる。買い物や通院への移動手段としては、介護タクシーや福祉タクシー制度、

福祉有償運送制度が既にサービス提供されている。

岐宿町白石地区の交通・買い物弱者への取り組みは

質問 平成25年6月議会において、岐宿町白石地区の交通・買い物弱者について伺っていたが、その後の取り組み状況は。

答弁 交通空白地域の解消として、白石、大川原、小川原地区には、平成29年10月から乗合タクシー制度を導入する予定である。

また、移動スーパーへの支援については来年度予算編成作業の中で支援策について検討している状況である。



支援策が検討されている移動スーパー

委員会 分科会 の 審査

― 条例の審査 ―

○ 議案第136号 五島市部設置条例の制定について

提案理由 平成29年度の組織機構の見直しにおいて、新たに部制を導入したため。

問 部制を導入している他市での消防本部、教育委員会等の状況は。

答 県内13市のうち五島市と松浦市を除く11市が部制を導入しているが、いずれの市においても、市長部局以外の部署については、部に属していない。

○ 議案第137号 五島市役所支所設置条例の一部改正について

提案理由 平成29年度の組織機構の見直しにおいて、支所の課を廃止したため。

問 支所の課の廃止後の業務は。

答 組織の見直しに当たっては、現在の業務、今後の計画等を踏まえて各支所と協議しており、これまで各課で対応していた窓口業務や各支所のアクションプランの推進等については、支所全体で取り

組むことになる。

○ 議案第141号 五島市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定について

提案理由 農業委員会等に関する法律の改正により、農業委員の選出方法が選挙による公選制から市長による任命制に変更されたこと、及び農地利用最適化推進委員の設置が新たに規定されたことから、それぞれの定数を定める。

問 農業委員及び農地利用最適化推進委員の選定方法は。

答 農業委員については市長が議会の同意を得て任命し、推進委員については、農業委員会総会で決定して委嘱する。

○ 議案第142号 五島市武道館条例及び五島市民富江・富江プール条例の一部改正等について

提案理由 老朽化が著しいことや、他の公共施設と機能が重複していることなどにより、利用がなされない山内武道館、市民富江プール及び戸岐体育館を、スポーツ施設として廃止したいため。

問 富江プール及び山内武道館の

スポーツ施設廃止後の計画は。

答 富江プールについては、隣接する中学校体育館の耐震化や屋根改修工事も予定されていることから、更地化に向けて調整を行っている。山内武道館については、近年利用がされていないことから、廃止することとなったが、小学校の跡地活用と一体的に検討していきたい。

― 補正予算の審査 ―

○ 山本二三美術館(仮称)整備事業設計管理等委託料 1千685万1千円

問 平成30年度中の開館を目指している(仮称)山本二三美術館の設計業務における地元業者の活用と作品の展示数は。

答 設計業務については、建築と展示の設計業務を実施することとしており、建築については、地元業者を含め選定する予定であるが、展示については、専門性が必要になることから島外の業者を想定している。

作品の展示数については、50点程度の作品を常設展示する予定であり、展示作品については、山本二三作品の著作権を持つ、スタジオジブリ、新潮社、KADOKAWA

との協議において、無償で展示ができることとなったため、現在、覚書を取り交わす準備を進めている。

○ 農作物等有害鳥獣対策事業 業工事請負費 242万5千円

問 農作物等有害鳥獣対策事業として籠淵・吉久木地区へのワイヤーメッシュ柵3kmの設置に係る工事請負費が計上されていることから、イノシシ捕獲の実績と生息域拡大の現状は。

答 イノシシの捕獲実績は奈留島が多く、昨年は110頭であったが、今年度は11月末現在で、すでに433頭が捕獲されている。増頭の要因については、繁殖により増えていること、また、捕獲員がえさのやり方や場所等の改善を行っており、その努力も捕獲数に表れている。生息域の拡大については、目撃情報による生息域の調査や管理等を行い、拡散防止柵を拡げる等の策を講じている。さらにICT機器を活用した事業を国に申請しており、採択されれば正確な生息状態を把握することができ、生息域の拡大を防げると考えている。

問 ワイヤーメッシュ柵の設置に

問 ついて改善が必要ではないか。
答 ワイヤーマッシュ柵の設置工事をを行う際には、山裾ののりじりより少し離し、のり面の途中から飛び越えないように張っており、ワイヤーマッシュ柵の下にコンクリート等の基礎を設けることができないことから、年に1、2回草刈りを行い、その他にも大雨の後などにも穴を掘っていないかチェックをし、穴が見つかったらその都度補修を行っている。

○漁港整備事業
 設計管理等委託料△477万円
 漁港施設点検診断委託料 630万円
 工事請負費 1千298万円

問 漁港建設費の漁港施設点検診断委託料と工事請負費が計上されているが、その概要は。
答 万葉地区の漁港合併の承認が計画より遅れる見込みであることから、当初計画していた八ノ川漁港の機能保全工事を平成29年度に変更し、田ノ浦漁港A棧橋の機能保全工事と水ノ浦、田ノ浦及び柏漁港の水域診断業務に事業を組み替えて実施することにしたため。

審査結果

議案番号	件名	審査結果	議案番号	件名	審査結果
議案第119号	平成27年度五島市一般会計歳入歳出決算	認定	議案第150号	産品センター鬼岳四季の里の指定管理者の指定について	原案可決
議案第120号	平成27年度五島市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	認定	議案第151号	玉之浦農林産物加工研修所の指定管理者の指定について	原案可決
議案第121号	平成27年度五島市介護保険事業特別会計歳入歳出決算	認定	議案第152号	荒川集会所の指定管理者の指定について	原案可決
議案第122号	平成27年度五島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	認定	議案第153号	大宝漁村センターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第123号	平成27年度五島市診療所事業特別会計歳入歳出決算	認定	議案第154号	小浦集会所の指定管理者の指定について	原案可決
議案第124号	平成27年度五島市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算	認定	議案第155号	玉之浦健康管理増進施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第125号	平成27年度五島市大浜産産区特別会計歳入歳出決算	認定	議案第156号	市民三井楽プールの指定管理者の指定について	原案可決
議案第126号	平成27年度五島市本山財産区特別会計歳入歳出決算	認定	議案第157号	笠松宏有記念館の指定管理者の指定について	原案可決
議案第127号	平成27年度五島市下水道事業特別会計歳入歳出決算	認定	議案第158号	あらたに生じた土地の確認及び字の区域の変更について	原案可決
議案第128号	平成27年度五島市公設小売市場事業特別会計歳入歳出決算	認定	議案第159号	字の区域の変更について	原案可決
議案第129号	平成27年度五島市港湾整備事業特別会計歳入歳出決算	認定	議案第160号	長崎県市町村総合事務組合の規約の変更について	原案可決
議案第130号	平成27年度五島市交通船事業特別会計歳入歳出決算	認定	議案第161号	平成28年度五島市一般会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第131号	平成27年度五島市土地取得事業特別会計歳入歳出決算	認定	議案第162号	平成28年度五島市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第132号	平成27年度五島市水道事業会計剰余金の処分及び決算	原案可決及び認定	議案第163号	平成28年度五島市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第136号	五島市部設置条例の制定について	原案可決	議案第164号	平成28年度五島市診療所事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第137号	五島市役所支所設置条例の一部改正について	原案可決	議案第165号	五島市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部改正について	原案可決
議案第138号	五島市税条例等の一部改正について	原案可決	議案第166号	五島市職員の給与に関する条例等の一部改正について	原案可決
議案第139号	五島市国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決	議案第167号	五島市長及び副市長の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第140号	五島市簡易水道事業の設置に関する条例等の一部改正について	原案可決	議案第168号	五島市議会議員の議員報酬、費用弁償等支給条例の一部改正について	原案可決
議案第141号	五島市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定について	原案可決	議案第169号	平成28年度五島市一般会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第142号	五島市武道館条例及び五島市民富江・富江プール条例の一部改正等について	原案可決	議案第170号	平成28年度五島市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第143号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	原案可決	議案第171号	平成28年度五島市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第144号	富江地域福祉センターの指定管理者の指定について	原案可決	議案第172号	平成28年度五島市診療所事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第145号	保育事業所の指定管理者の指定について	原案可決	議会議案第9号	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書	原案可決
議案第146号	認知症対応型共同生活介護施設の指定管理者の指定について	原案可決	決議第2号	国境離島新法の施行に関する要望決議	原案可決
議案第147号	生活支援ハウス及び高齢者生活福祉センターの指定管理者の指定について	原案可決	決議第3号	「小型風力発電施設建設に関するガイドライン」の早急な制定を求める要望決議	原案可決
議案第148号	デイサービスセンターの指定管理者の指定について	原案可決			
議案第149号	農村集会所の指定管理者の指定について	原案可決			

賛否一覧表

○：賛成、×：反対、－：欠席

議案番号	創政会					芯風会				椿会		政策研究会7		日本共産党		研政会		五島市安全安心なまちづくりの会	公明会	政策会
	明石博文	木口利光	神之浦伊佐男	谷川等	野茂勇司臣	清川久義	野瀬健一	林睦浩	三浦直人	草野久幸	古川雄一	網本定信	菊谷岩雄	江川美津子	橋本憲治	宗藤人	村岡末男	中村康弘	相良尚彦	片峰亨
議案第119号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
議案第120号 ～第122号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
議案第123号 ～第132号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第136号	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第137号	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
議案第138号 ～第172号	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会議案第9号	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決議第2号 ・第3号	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



☆表紙の題字
「市議会だより」は、
岐宿中学校2年
橋本妃菜
さんの作品です。



☆表紙の題字
「ごとう」は、
岐宿小6年
石原綾華
さんの作品です。

3月定例会は3月7日(火)開会予定です。

インターネット議会中継

本会議の生中継、平成22年6月定例会以降の本会議の映像を見ることができます。
<http://www.goto-city.stream.jfit.co.jp/>

編集後記

市民の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと存じます。市議会は、この12月定例会が今期最終の議会となり、広報特別委員会においても最後の議会だよりとなりました。この議会だよりが皆様へ届く頃は、改選市議会議員選挙の最中ではと思われま



議会広報特別委員会

- | | | | |
|------|-------|----|-------|
| 委員長 | 菊谷 岩雄 | 委員 | 明石 博文 |
| 副委員長 | 村岡 末男 | 委員 | 中村 康弘 |
| 委員 | 野瀬 健一 | 委員 | 野茂勇司臣 |

(菊谷 岩雄)

そのたびに広報編集の奥の深さを痛感いたしました。ともあれ、御協力いただきました市民の皆様を初め、担当書記並びに事務局職員の皆様には、並々ならぬ議会広報への温かい御支援を賜りましたこと、ここに深く感謝いたします。ありがとうございました。寒風の、椿の幼木に、椿の花が咲いた。傍らに、菜の花が二つ三つ。なにごと